

第1回富田林市建設工事総合評価審査委員会議事録

- 1 開催日時 令和4年10月11日（火）午後2時00分～午後3時15分
- 2 開催場所 市役所3階 庁議室
- 3 出席者 委員7名、担当課（総務課新庁舎建設PT）3名、事務局（契約検査課）5名、
支援業務受注者（明豊ファシリティワークス㈱ 以下、MFW） 3名
- 4 開催形態 公開（傍聴人 人）・**非公開**・一部公開（傍聴人 人）

【非公開・一部公開の理由】

会議の公開に関する指針3.（2）、（3）該当

5 次第

1. 開 会
2. 委嘱状の交付
3. あいさつ
4. 委員及び事務局紹介
5. 委員長の選出
6. 会議の公開等について
7. 議事
 - （1）新庁舎建設工事に係る事業について
 - （2）総合評価落札方式について
 - （3）新庁舎建設工事の事業者選定に係る委員会のスケジュールについて
8. その他

- 6 審議の経過及び委員会等の結果等 全文筆記・**要点筆記**・議事要旨
議事録公開時期：事業者選定後

7. 議事

- （1）新庁舎建設工事に係る事業について
 - ・本事業のこれまでの経過と基本設計の概要について担当課より説明
- （2）総合評価落札方式について
 - ・総合評価落札方式の内容と事業者選定に係る流れ、今後の検討事項や事例等について事務局より説明

【委員】 総合評価落札方式の説明について、技術提案評価型の分類のうちS型に該当することだが、S型の説明にあるWTOとはどういう意味か。

【事務局】 WTOに該当する事業とは国内だけでなく海外の事業者も含めて募集する事業である。

【委員】 標準案の作成はどちらが行うのか。

【事務局】 標準案については事務局で作成を行う。

【委員】 参考事例であったA市の案件は、入札価格点はどのように設定されているのか。

【MFW】 配点は加算方式となっており、技術点150点に対して、価格点は150点と設定されている。

【委員】 技術的に優れていても、価格で逆転されることもありうると思うが、A市も含めて、そのような事例はあるのか。

【MFW】 内容については不明である。

- (3) 新庁舎建設工事の事業者選定に係る委員会のスケジュールについて
- ・今後のスケジュールについて説明。

8. その他

【委員】 低入札価格調査制度が地方自治法で定められている理由は何か。

【事務局】 低入札価格調査制度は、業務履行可能か調査を行うための基準価格を設け、その額以下でも履行可能と判断できれば落札者となる制度である。最低制限価格制度は当該価格以下では失格となり、低入札価格調査制度とは異なるものである。最低制限価格制度の場合、参加業者が全員底でそろってしまうと、価格点が同じになり、そこでは差が出ず、技術点のみの競争となることから、総合評価落札方式では低入札価格調査制度のみ採用できるようになっていると考えられる。

【委員】 会議の公開について、資料はどのように取り扱うのか。

【事務局】 委員には資料をお持ち帰りいただいて構わないが、取り扱いにはご注意願いたい。

【委員】 事務局で考えている技術提案内容はどのようなものを考えているのか。

【事務局】 現地建替えであり、周辺に住宅等もあることから安全管理に対する提案や品質確保の向上のための提案や工期の短縮を図る提案等について考えています。

【委員】 基本設計までの流れについて、市民参加がどのように図られたか等、経過を教えてください。工事期間中は庁舎を使わないといけないので、その間市民にどうアピ

ールするのか等、もし市民が大きく関わっているのであれば必要ではないかと思いません。

【担当課】 工事に関して仮移転をどのように行うかについては最も市民から注目を集め、そういう意見を頂いた中で、まとめた案をもとに市民説明会を開催している。今回説明させていただいた庁舎の内容についても改めて市民説明会を行う予定である。市民ワークショップも基本計画・基本設計段階で実施している。

【委員】 昨今の物価上昇を鑑みて、工期が長いことを想定した価格設定としているのか。

【担当課】 現在上昇分も含めて検討している段階である。

【委員】 現在の社会情勢を考えると、入札価格が上限価格を超える可能性が十分にあり得る。この点をしっかり考慮して検討を頂きたい。

【委員】 脱炭素化の中で、設備や工法や素材の工夫などについて環境配慮をできるのではないかと考えるが、改善の余地はあるか。

【担当課】 施工段階でも最近の事例ではあると聞いている。大きな目標であればZEBについては、そういう提案をいただければ、可能性はあるのではないかと考えている。

【事務局】 次回の審査委員会の開催については、委員の皆様のご都合を伺わせていただき、決定したい。今後については、資料等の事前配布の仕方や、リモートでの参加等あらゆる手法を検討しつつ、充実した審査委員会となるよう進めていきたいと考えている。

【委員長】 次回以降は審査内容の検討になるので、早くに事前配布を頂けるようお願い致します。